

将来世代
応援
企業賞

福島キヤノン株式会社

(福島県)



代表者：代表取締役社長 相馬 克良

所在地：福島県福島市佐倉下字二本榎 2

業種：製造業

事業内容：プリントヘッドやインクタンク、業務用フォトプリンター
の生産及びキヤノン製品のソフトウェア評価

従業員数：1,729人（男性 1,205人、女性 524人）

URL：<http://www.fukushima-canon.co.jp/>

設立年：昭和44年（1969年）

企業の取り組み状況等

背景

キヤノンの「仕事と家庭の両立」への取り組みは、医師でもあった、キヤノン初代社長 御手洗毅（たけし）の、「企業の成長は、社員の健康と幸せな家庭生活の上にはか成り立たない」という「想い」に原点があり、その「想い」は今も生き続けています。この「想い」の下、社員全員がイキイキと働ける環境作りを目指し、「ワーク・ライフ・バランスの推進」への取り組みを積極的に進めています。

取組

- 子育て支援・子育て環境整備の取組
 - ・育児休業支援プログラム（職場復帰支援）、マタニティ休業制度（妊産婦の母性保護）の実施
 - ・育児休業対象者は満3歳未満の子を育てる者まで拡大、所定外労働の免除や短時間勤務は小学校3年生の終了時まで拡大
 - ・搾乳室設置、駐車場やロッカーの再配置による通退勤の配慮
- 女性活躍推進に向けた取組
 - ・講演会及びDVD試聴会を開催し、管理職の意識改革に取り組んでいる。
 - ・女性社員同士の意見交換会を実施し、働きやすさの向上を図っている。
- 有給休暇の取得促進への取組
 - ・フリーバカンス制度（有給休暇を5日間連続で利用）、リフレッシュ休暇制度（勤続年数に応じて特別休暇を付与）の整備。
 - ・時間単位休暇制度（消滅した年次慰労休暇（20日/年）のうち、最大5日を時間単位休暇として積み立てることができる。15分単位で取得可能。）の整備。
 - ・傷病積立休暇の運用（消滅した年次慰労休暇のうち、時間単位休暇として積み立てられた日数を差し引いた日数を35日を限度として、退職時まで繰り越すことができる。）
- ノー残業デーの実施
 - ・毎週水曜日・金曜日に徹底している。
- 就業時間の前倒しの実施
 - ・毎年7月～9月に就業時間を30分前倒しし、家族との団らんや自己啓発、健康増進等に充てている。（講演会、法律を学ぶ勉強会、リラグゼーションセミナー「ヨガ教室」などを実施）
- キヤノンヘルスコール（こころとからだの健康相談）の設置
 - ・キヤノン健康保険組合において、健康に関する不安や疑問に対応ができる相談窓口を年中無休24時間開設している。
- 地域貢献活動
 - ・将来を担う若者を育成するという視点から、現在深刻な問題となっている地球温暖化という環境問題を取り上げ、地域環境を守る大切さを伝えることを目的に、地域の小学生（高学年）へ、環境にまつわる簡単な実験やインクジェットプリンタの分解を通して、環境への理解を深めてもらう「環境出前授業」を開催している。
 - ・子どもたちの感性を育みながら、環境に対する意識を高めるとともに、写真文化を通して子どもたちに自分の発見や感動を人々に伝える体験の場を提供する「ジュニアフォトグラファーズ」を実施している。
 - ・福島キヤノンは日本一の清流「荒川」の隣に位置しており、「自然との共生/地域とともに」をモットーに、荒川とその周辺地域をカメラに記録する「荒川の自然を記録するプロジェクト」を実施している。

成果

- ・女性の育児休業取得率100%、復職率100%を継続中
- ・福島県ワーク・ライフ・バランス大賞受賞（平成28年度）
- ・福島県ワーク・ライフ・バランス先進的取組大賞受賞（平成27年度）
- ・厚生労働省 くるみん認定（3回目）（平成26年度）
- ・福島県次世代育成支援企業認証（「仕事と生活の調和」推進企業）取得（平成18年8月）

ボス

福島キヤノンは、組織全体の活性化を図るために、多様性の尊重と公平な機会提供を推進しています。社員全員が更に活躍し、十分に能力を発揮できる環境を整えるとともに、いきいきと働ける職場づくりに取り組みます。

従業員

第二子（長男）の出産をきっかけに上司の勤めもあり、3ヶ月間の育児休業を取得しました。今回、育児休業を取得したことで子どもたちの成長を感じ、自分自身も成長できたような気がします。快く取得を勧めてくれた上司や私が抜けた分をカバーしてくれた同僚には大変感謝しています。

